

交通安全だより第12号

I. 12月の安全運転管理について

1. 飲酒運転の根絶を図ろう

～飲酒運転はしない・させない・許さない～

飲酒運転は非常に悪質、危険な行為であるにも関わらず、いまだに根絶するには至りません。飲酒が運転に及ぼす影響として、

- ・周囲に対する注意力が鈍る
- ・判断力が低下して危険を見落とす
- ・ブレーキ等の反応、操作が遅れる
- ・気が大きくなってルールを無視する

等が挙げられます。重大事故に直結する恐れがあることを周知し、飲酒運転をやめさせるようにしましょう。また、会社として「飲酒運転は絶対に許さない」という姿勢を示すことが飲酒運転の抑止力となります。



～酒気残り運転を防止する～

飲酒の機会が増えるこの時期には、翌朝などの酒気残り（体内残留アルコール）に注意しましょう。「数時間は寝たので大丈夫」などと安易に考えて運転しようとする人がいますが、これは大きな間違いです。アルコールの分解時間などについて指導を徹底するほか、マイカー通勤者に対しては、検知器を用いた運転前のアルコールチェックを実施するなどして、酒気残り運転の防止に努めましょう。

～アルコールの表記に注目～

厚生労働省は「節度ある適度な飲酒を、一日平均純アルコールで約20g程度（ビール中瓶1本）」としており、分解には体重60kgの男性で、3～4時間かかると言われていました。しかし、販売されている缶ビールなどは、アルコールの割合が%で表示されているため、摂取量がわかりにくいと指摘されていました。そこで厚生労働省はアルコールの含有量をグラム単位でも表示するよう呼びかけており、すでに大手酒類メーカーでは容器やホームページ上でグラムの記載を始めています。多量の飲酒は二日酔いやアルコール依存症に繋がり、運転にも影響を及ぼします。表示されているアルコール含有量を参考にして、節度ある飲酒を心がけましょう。

2. 年末年始こそ、ゆとりを持って運転しよう

業務が多忙になる年末年始は、時間や気持ちにゆとりがなくなりがちです。ゆとりのない運転は、運転操作が雑になるだけでなく、交通ルールの無視や危険の見落としにつながり、事故の危険が高くなります。

スピード超過や一時不停止、信号無視、横断歩行者等の見落とし、運転中の携帯電話の使用など、事故に繋がる危険な運転をしないように注意が必要です。気ぜわな年末年始こそ、スケジュール等をうまく管理して、ゆとりを持って運転しましょう。年末年始を無事故・無違反で乗り切り、清々しい気持ちで新年を迎えて下さい。

3. ながら運転防止の徹底

運転中の「ながらスマホ」が厳罰化されて2年が経ちました。しかしながら、いまだに運転中にスマホを使用する運転者が散見されます。罰則の内容を再度周知して、スマホ等を使用する際には、必ず安全な場所に停止してからにすることを徹底させましょう。

4. うっかり事故を防ぐ

機械式立体駐車場内に人がいる状態で機械が作動したり、人の乗降・歩行時に転倒や落下するなどの事故が発生しています。機械式立体駐車場でひとたび事故が発生すると、重大事故になる危険が高くなります。利用時は駐車装置内や周辺に人がいないことを確認する、操作中は子供や同乗者などを装置に近寄らせない等、細心の注意を払いましょう。

エコドライブで安全運転

12月1日は「冬の省エネエコ総点検の日」です。運転中にできる省エネとして、代表的なものがエコドライブです。エコドライブに特別な知識や技術は必要ありません。まずは次の4つに注意して運転してみましょう。

- 発進時はアクセルを徐々にゆっくり踏み込む
発進するときは、最初の5秒で時速20kmを目安に、優しくアクセルを踏みましょう。優しい発進は燃費改善だけでなく、安全運転にも繋がります。
- 減速するときはエンジブレーキを活用する
減速時は、早めにアクセルから足を離すことでエンジブレーキが作動し、2%ほど燃費が改善します。また、減速するときや坂道を下る時もエンジブレーキを活用するとよいでしょう。
- むだな加速はせず、一定の速度で走行する
一定の速度を保つことで、燃費は向上します。できるだけむだな加速はしないよう、前車の動きだけでなく、少し先の道路状況にも気を配ることが大切です。
- 停止中はアイドリングストップ
車は停止中であってもエンジンが掛かっている状態では燃料を消費します。荷物の積み下ろしや人を車内で待っている時など、停止中はエンジンをとめましょう。
エコドライブには燃費消費量やCO2排出量を減らすだけでなく、交通事故のリスクを減らす効果もあります。環境や人のために、エコドライブを意識した運転を実践してみましょう。

II. 交通安全テスト

次の問は、運転者として知っておくべきこと、守らなければならないこと、安全運転の方法などについて述べています。正しいものには○を、誤りには×を付けて下さい。（正解は下にあります）

- Q1 横断歩道のない交差点を歩行者が横断していたので、クラクションを鳴らして注意を促し通行した。
- Q2 横断歩道に近づいたところ、直前で停止している車があったが、横断しようとしている人はいないようだったので、徐行で車の側方を通過してその前方に出た。
- Q3 図1の標識は、積載量が「5.5t以下」の車両に限り通行できることを示している。



III. 今月の交通ヒヤリハット

・事業場より提出されたヒヤリハットです。危険予知活動に利用してください。

いつ	走行中
どこで	高速道路
何をしている時に	追い越し車線で前車の様子を伺っていた時
どうなった	前車がゆっくりと走行し追い越したいが譲ってくれないため、走行車線に移動し追い抜こうとしたら幅寄せをしてきた

テストの正解 Q1) ×→むやみにクラクションを鳴らしたり、歩行者の通行を妨げてはいけません。
Q2) ×→前方に出る前に一時停止しなければなりません Q3) ×→積載量ではなく総重量。